

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (中国)		高級レストラン（事業戦略担当）	来客数の動き	・売上が増加し、単価も微増となっている。
		百貨店（外商担当）	単価の動き	・新元号企画の高額商品が好調に推移し、前年をクリアしそ うである。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・3か月前と比べ、明らかに客の来店頻度と購買点数が上昇 しており、ついで買いの言葉をよく聞くようになっている。 また、5月としては異例の猛暑により、飲料や冷凍食品の買 いだめがおきている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・今年のゴールデンウィークは10連休で、さらに改元のお祝 いムードもあり、期間中の来客数と売上は共に前年比105% となっている。なかでも、やや高単価な商品、外食より中食 や肉食の品などが増加している。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・朝昼の工事作業員の来客数が非常に多くっており、来客 数、売上共に前年より2%程度高い状況である。暑いのでお にぎりや冷やし麺などが売れているが、女性にはサラダが売 れている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・売上の伸びは悪いが来客数は伸びている。
		コンビニ（副地域ブロック長）	お客様の様子	・今年に入って生活関連商品、飲料、加工食品の売上が上昇 している。特に、スーパーの営業時間の短縮などが、深夜か ら早朝の来客数の改善につながっている。
		家電量販店（企画担当）	お客様の様子	・10月の消費税の引上げ前に購入する客が多く、エアコン、 冷蔵庫、洗濯機が特に多い。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・理由は不明ながら、今年になって売上が前年を下回ること がなく、小売も卸も好調である。
		その他専門店 〔和菓子〕（経営者）	来客数の動き	・10連休の影響で好調が続いている。
		観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・長期にわたったゴールデンウィークの反動で来客数の落ち 込みがみられる。
		都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・改元とゴールデンウィーク10連休の影響で宿泊者数が大幅 に伸びるとともに、10年に一度の船神事の開催により10連休 後の落ち込みもなく推移している。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・改元により客に景気回復への期待がみられる。
		タクシー運転手	来客数の動き	・大型連休で人がかなり流れている。
		テーマパーク（営業担当）	来客数の動き	・週末やゴールデンウィークを中心に晴れの日が多かったこ とと、改元に関連した展示内容がメディアに多数取り上げら れたことにより、入園者数が大幅に増加している。
		観光名所（館長）	来客数の動き	・貿易摩擦等の懸念材料や消費税の引上げなどの不安材料も あるが、インバウンドの伸びや消費意欲の底堅さが影響し、 10連休での入館者数が前年比で50%伸びている。
		競艇場（企画営業担当）	販売量の動き	・電話投票の売上が好調である。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・改元によるお祝いムードの中で客の雰囲気明るく、商談 がスムーズに運んでいる。
		住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・引き合い案件が多くなってきている。
		商店街（理事）	お客様の様子	・客は消費と貯蓄のウエイトを意識しながら家計をやりくり しており、景気の良しあしもそれによって左右されている。 今月は消費にウエイトが置かれる傾向にあるが、価格の値上 げもあるため景況感是不変。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・客の財布のひもが固いままで、レジ周辺の商品の売行きも 悪い。必要以上に購入することがなく、最小単位での購入が 目立つ。	
	商店街（代表者）	お客様の様子	・低価格志向が相変わらず強く、買い控えの傾向がみられ る。	

商店街（代表者）	お客様の様子	・10連休の後半は大型イベントであるフラワーフェスティバルもあり、通行客は観光客を含め大変多い。しかし、飲食関係以外は苦戦しており、連休後も売上の確保が厳しく、景気は3か月前と変わらず良くない。
一般小売店〔印章〕（経営者）	来客数の動き	・今月は令和のゴム印の追加需要が若干あったが、連休が長く休業したこともあり、全体の売上は減少している。
百貨店（経理担当）	販売量の動き	・前年は6月に開催した特招会を5月に実施したことや、観光部門と改装したりピング部門が好調なことから、売上が前年を上回っている。
百貨店（営業担当）	販売量の動き	・ゴールデンウィークは例年同様食料品の催しが盛況で、全体の売上や来客数はプラスであった。ただし、婦人服は秋冬受注会などでデザイナーズ系は順調であるが、その他のブランドの販売は非常に厳しい状況であった。連休明けに少し上向いたものの、中旬以降は前年を割って月末は更に悪化している。
百貨店（売場担当）	お客様の様子	・母の日の週に気温が上がり、パラソルや帽子がギフトで動き、月の後半もミセス層が購入するUV対策化粧品や初夏物サンダルなどが動いている。
百貨店（売場担当）	来客数の動き	・ゴールデンウィークには近隣からの集客が好調に推移したが、月末が近づくとつれて平年並みに戻りつつあり、例年よりも売上の前倒しが顕著となっている。
百貨店（購買担当）	お客様の様子	・ゴールデンウィークに来客数の増加を図るため、北海道物産展や衣料品関係のイベントを開催したが、旅行に出掛けたり、家族の帰省のために家で過ごす家庭が多く、厳しい結果となり、売上が振るわない。気温が非常に高いため夏物が売れるとの予想に反し、来月のクリアランスセールを待つ客が多く、衣料品関係は婦人、紳士、子供共に厳しい状況が続いている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数の前年割れが続き、売上も伸びていない。
スーパー（総務担当）	単価の動き	・来客数、買上点数共に下向きではあるが、客単価は横ばいなので変化はない。
スーパー（財務担当）	来客数の動き	・ゴールデンウィークの後半に持ち直したため、既存店の来客数、買上点数、1品単価が前年と変わらない。
スーパー（管理担当）	来客数の動き	・ゴールデンウィークには前年を上回る実績を上げ好調であったが、連休明けから消費が低迷する状況に戻っている。
衣料品専門店（代表）	それ以外	・以前はイベント時の仕入れに行った際、仕入れする人であふれていたが、最近は卸価格が特価のときですら仕入れする人が少なく、小売が振るわない状況が続いている。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・客単価、来客数共に引き続き減少傾向にある。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数は減少しているが、客単価は上昇している。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数は3か月前から前年比90%台前半で推移しており、今月も同じ状況である。エアコンや冷蔵庫が例年よりも早い段階で販売が活発になっており、前年比120%台と好調であるが、反対にテレビやパソコンが前年比70%台と大きく落ち込んでいる。ただし住宅リフォームは依然として好調で、前年比200%以上の伸びを示しており、家電の落ち込みをリフォームで補う構図は3か月前から変わっていない。
乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・5月の販売量は前年比120%となっており、新型軽自動車の販売好調が影響している。
乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク中もその後も来客数が増加せず、逆に減少傾向である。
その他小売〔ショッピングセンター〕（所長）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク10連休は前年比112%と好調だったが、その反動でそれ以降は前年を下回り、5月を通じては前年並みとなっている。
その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	お客様の様子	・ゴールデンウィークも後半は落ち着き、10連休の恩恵は期待したほどにはなっていない。例年5月3～5日には来客数が伸びているが、今年はイベント目的での来館者はいたものの、ついで買いなどの買い回りにはつながっていない。

一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・支払金額が明確な食べ放題の割合が上昇しており、家族の利用が多い休前日や休日も、単品の注文より料金が明確なセットの割合が上昇している。値上げの影響で外食産業でも節約ムードが及んでおり、特にゴールデンウィーク後はその傾向が顕著に現れている。
都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・ゴールデンウィークの10連休で来客数はそれなりに伸びているが、前年とほぼ同程度である。
都市型ホテル (企画担当)	販売量の動き	・宿泊はインバウンドが全体をけん引する形で好調を維持している一方で、地元客が中心で10連休には好調だったレストランは、連休後は低迷している。
タクシー運転手	お客様の様子	・昼はそれほどでもないが、夜の街が静かで、タクシーチケットの利用も少ない。
タクシー運転手	お客様の様子	・大型連休には観光客等が増加しタクシー利用もかなりあったが、連休後は利用を控える傾向があり、夜の利用状況も悪くなっている。
通信会社(企画担当)	お客様の様子	・モバイル関連のサービス商材に対する引き合いと販売の動きは少しおとなしくなっている。その要因として大手キャリアの値下げ動向の情報が流れていることがある。さらに米国による中国系メーカーの排除の動きから、これまで目玉となっていた同社製端末商材の扱いにブレーキが掛かっていることがある。
通信会社(経理担当)	それ以外	・身近で景気が良くなった話は聞かれず、客が特別に良い契約に変更する様子もない。
通信会社(工事担当)	お客様の様子	・客の様子に変化がない。
テーマパーク (業務担当)	来客数の動き	・10連休が終わって春の花の時期も過ぎ、来客数が少なくなってきた。
テーマパーク (管理担当)	お客様の様子	・特に変化はない。
ゴルフ場(営業担当)	お客様の様子	・ゴールデンウィーク期間は10連休でもあり客の動きは良かったが、連休明けは例年より来場者の動きが悪い。結果的に月の前半が良く後半は若干悪いため、単価を下げて集客を行っている。
設計事務所(経営者)	競争相手の様子	・人手不足で仕事が進みにくく、消化不良で効率が落ちているため、契約が終了していても客が待たされる状況が起きている。
設計事務所(経営者)	単価の動き	・建築材料の価格等で長期間にわたり高止まり感がある。
商店街(代表者)	単価の動き	・最近の客にはより良い物をよりタイムリーにより安く買おうとする傾向があるため、なかなか購入に結び付かず、非常に厳しい状況が続いている。
一般小売店 [茶](経営者)	販売量の動き	・商店街にも周辺の経済にも元気がない。
一般小売店[食品] (経営者)	来客数の動き	・来客数の減少と客単価の減少が続いている。
一般小売店[洋裁 附属品](経営者)	お客様の様子	・人の流れはやや多かったが、飲食店や大きなディスカウントストアに流れている。
一般小売店 [靴](経営者)	来客数の動き	・4月末の連休から新規の問合せが前年に比べて減少している。
百貨店(広報担当)	販売量の動き	・来客数は前年より増加しているが、売上が伸びない。
百貨店(売場担当)	販売量の動き	・10数万円の紳士服や宝石などは売れるが、100万円以上の美術品などが売れず厳しい。
百貨店(外商担当)	販売量の動き	・大型連休は好調であったが、それ以降は販売量、来客数共に減少している。
百貨店(営業企画担当)	販売量の動き	・ゴールデンウィークには来客数が増加し、土産品も好調であったが、改装計画のため催事会場が閉鎖していることから、売上の減少が継続している。
スーパー(店長)	来客数の動き	・ここ半年間ずっと来客数が前年を2%下回っている。

	スーパー（販売担当）	お客様の様子	・大型連休があったため、月前半の売上は前年比で衣料品が100.6%、生活雑貨が105.7%、食品が107.0%と前年を超える数字で推移し、前半の全体では103.5%となっている。しかし、後半はその反動で落ち込みが大きく、月全体では低調であり、特に好不調の判断材料となる主婦層の動向が鈍く懸念している。
	スーパー（販売担当）	来客数の動き	・来客数が若干減少するとともに、客単価もやや低下している。
	スーパー（業務開発担当）	競争相手の様子	・青果の価格が前年並みに戻ってきているが、加工食品の値上げが相次いでおり競合他社との兼ね合いで売価に転嫁できない状況であり、特売商品は動くが定番が動かない。
	コンビニ（支店長）	競争相手の様子	・コンビニの24時間営業の可否が話題となっており、業界全体のイメージが悪化している。
	衣料品専門店（経営者）	競争相手の様子	・各地で開催されている展示会の状況も芳しくなく、閉鎖する店舗も増加している。
	家電量販店（販売担当）	販売量の動き	・エアコンの動きが悪く、販売単価も低下している。
	乗用車販売店（店長）	お客様の様子	・大型連休の影響で稼働日数が少ないなか、来客数、販売量共に前年の90%となり、1か月間を通して客の動きが鈍くなっている。
	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・来客数は増えているが、販売に結び付いていない。
	乗用車販売店（店長）	お客様の様子	・消費税の引上げなど先行き不透明感を持っている人が多く、高額商品の購買意欲が低下している。
	その他専門店〔布地〕（経営者）	お客様の様子	・ゴールデンウィークが長すぎたことと天候が良かったことにより、街には余り人が出ていない。買物をする人も少なく、高い物よりも安い物を探す客が多くなっている。
	その他専門店〔土産物〕（経営者）	単価の動き	・10連休明けから財布のひもが固くなり、観光バスは多く入るが客単価は低い。連休中は少し浮かれた雰囲気もあり、売上が伸びたが一時的であり、連休後は節約ムードが漂っている。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・10連休で一時的に来客数が増加し、売上にも好転の兆候があったが、その後の落ち込みは予想以上で、客の外食利用意向の低下が懸念される。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・長いゴールデンウィークでたくさんの人出があったため、その後は反動で人出が非常に悪くなっている。
	一般レストラン（店長）	単価の動き	・前年に比べ全体的に客単価が低下しており、特に予約コースが低単価の商品に集中する傾向にある。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・当業界は連休が悪影響を及ぼすことが多く、今回の大型連休の影響で来客数が減少している。
	都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・宿泊やレストランへの影響が大きいゴールデンウィーク期間は来客数、売上共に前年を上回ったものの、その後の落ち込みが激しく、月末まで客の動きが低迷している。宿泊のインバウンド団体も前年並みに受注できているが、室料単価は下落している。企業の宴会利用も減少しており、期待された改元による好景気とはなっていない。
	旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・例年はないゴールデンウィークでもあり、個人旅行需要は想定まではいかないまでも、3か月前と比較して堅調に推移しているが、その一方で法人需要には販売量に大きな増減がない。
	タクシー運転手	来客数の動き	・今月はゴールデンウィークがあったものの金が回っておらず、乗車率が非常に悪い。
	通信会社（広報担当）	お客様の様子	・客はいつも安い物を求めている。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・大型連休の前などはまめに髪を切りに来るが、ふだんは客が訪れる周期が延びているため、1か月通してみると悪い状況が続いている。
	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・客から建物の老朽化に伴うリフォーム工事の話はあるが、なかなか契約までの決断に至らない。
×	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	販売量の動き	・大型連休中の売上が減少し、その後も買い控えが続いている。
×	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・3か月前は決算期で販売量も多かったが、今月は買い控えが続いている。
×	住関連専門店（営業担当）	来客数の動き	・ゴールデンウィークに最大のイベントを開催したので、終了後は来客数が極端に減少している。

	x	その他専門店 [時計](経営者)	来客数の動き	・大型連休で消費がレジャーや旅行に回り、一般生活品に回らない流れが継続している。
	x	美容室(経営者)	お客様の様子	・今月は今までにない水準で売上と来客数が減少している。
企業 動向 関連		輸送用機械器具 製造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・自動車部品の生産は今のところ上向いている。
(中国)		繊維工業(監査 担当)	受注量や販売量 の動き	・夏物シーズンに入ったが、好調だった冬物と同様に順調に売上が推移している。卸段階が好調なので、前売りの見通しが明るい。
		輸送業(支店 長)	受注量や販売量 の動き	・消費スタイルの急速な変化に伴いネット市場が拡大し、小口貨物が増加傾向にある。収益力の回復と集配力の拡大を両立させるために価格の適正化や集配体制の強化等を行っているが、費用が増加する一方で、単価が上昇したことにより、業績は堅調に推移している。
		広告代理店(営 業担当)	受注量や販売量 の動き	・令和元年スタートでの提案案件に対する企業からの受注があり、上向きに推移している。
		農林水産業(従 業員)	受注量や販売量 の動き	・販売状況が相変わらず悪い。
		食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量 の動き	・販売量の増減は特にならない。
		木材木製品製造 業(経理担当)	受注価格や販売 価格の動き	・前年度は新設住宅着工戸数が減少したが、今年度は期待された消費税の引上げ前の一時的な駆け込み需要が過去のように大きなものにならず、余り変わっていない。
		窯業・土石製品 製造業(総務経 理担当)	受注量や販売量 の動き	・生産量の変動もなく高い水準が継続し、納期対応で時間外労働が多くなっている職場もある。
		鉄鋼業(総務担 当)	取引先の様子	・人手不足や働き方改革による残業規制により、活動水準が横ばいでほぼ各需要分野に変化がない。市中在庫も多く需給にタイト感がなく市況も上がっていない。
		輸送用機械器具 製造業(財務担 当)	取引先の様子	・当社ビジネスの上流である海運会社や造船所では、運賃の底打ちや為替の安定等により一部収益が改善している部分もあるが、当社を取り巻く景況感には波及していない。
		輸送用機械器具 製造業(経営企 画担当)	受注量や販売量 の動き	・主要客からの受注は、高止まりしている。
		建設業(総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・災害復旧工事の発注や手持ちの予定物件があるので当面は景気の好調が継続するが、受注工事の大型化でその失注や利益率の低下が景気に大きく影響するリスクがある。
		通信業(営業担 当)	受注量や販売量 の動き	・今期の滑り出しの売上は例年に比べて変動は余りなく、設備入替えの動きも鈍い。
		金融業(貸付担 当)	取引先の様子	・鉱工業は上向いているが、百貨店、スーパー等の小売業、観光業などは下向きである。
		金融業(融資企 画担当)	取引先の様子	・やや減速気味ではあるが、地元の自動車部品メーカーの受注は、系列完成車メーカーの世界販売が依然堅調を維持していることから高水準で推移している。
		会計事務所(経 営者)	取引先の様子	・人手不足感が強いが、アウトソーシングによる処理増加で相殺されている。
		食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・ゴールデンウィークの10連休で受注量が大幅に減少している。地域観光等の動向は良かったが売上に寄与していない。
		化学工業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・米中の貿易摩擦が受注量に影響を及ぼしており、主要取引先が需要の様子見感から半導体向け等の生産調整を実施していることにより受注量が5~10%程度減少している。
		非鉄金属製造業 (業務担当)	受注量や販売量 の動き	・少しずつではあるが、製品の受注量や販売量が減少してきている。
		金属製品製造業 (総務担当)	受注量や販売量 の動き	・工作機械業界からの受注が減少しており、案件数が減っていることに加え、受注が決まりにくくなっている。

	電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・米中貿易摩擦の影響で取引先の設備投資が延期されて当社装置の導入見送りが発生するとともに、他の取引先でも生産減少に伴い当社への受注量が減少している。
	輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・全体的に受注量が減っている。
	輸送業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・国内貨物は暑さの影響で飲料関係が動き始めているが、国際関連貨物は荷動きが鈍くなった影響が大きく、景気は悪化している。
	通信業（営業企画担当）	取引先の様子	・製造業の取引先がアウトソーシング、セキュリティ案件の導入や検討を進めるなかで、経営層の最終決定時に見直されるケースが増えつつあり、案件の保留や導入の延期が発生している。
	不動産業（総務担当）	それ以外	・前月に比べて来客数が5%、成約件数が10%とそれぞれ減少している。
	x	-	-
雇用関連		-	-
		-	-
(中国)	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・3か月前は転職などで求人が多く、人が動く時期であったが、今月は求人の動きが少なく前年並みである。
	求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・企業からの求人数は堅調に推移しており、流通業とサービス業で引き続き人手不足感が強い。
	求人情報誌製作会社（広告担当）	求人数の動き	・建築関係の企業は好調であるが、それ以外の企業は売上の落ち込みがあり、働き方改革などの影響でやや悪い状況である。求人数は一見変わらないが、無理に採れなくても構わない意向の企業も多い。学生は高校生の地元就職希望者が5割弱で8年前の7割弱から大幅に減少している。地元大学に進学した学生の地元就職希望者は相変わらず69%と高いが、県外に進学した学生の地元就職希望者は33%と低い。地方の採用難は問題点としてあるが、学生は年々地元への関心が低くなっている。
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人は、食料品製造業のうち食肉と菓子製造で繁忙期となる大型連休を見据えた大口求人が目立ったほか、旅館業や付随する旅館の清掃等の募集も多くなったが、求人全体で見ると横ばいで推移している。
	職業安定所（雇用関連担当）	求人数の動き	・米中貿易摩擦により前年度と比べ受注量が減っていることに起因し、求人を控える製造業も一部あるが、全体的には有効求人倍率も高水準で推移している。
	職業安定所（職業指導担当）	求人数の動き	・求人数は依然として増加傾向にあり、景気は引き続き好調を維持している。
	職業安定所（事業所担当）	求人数の動き	・新規求人数が月ごとで増減を繰り返すなかで、直近では前年同月比で3.3%増加している。また、求職者の減少も影響しているが、有効求人数も16か月連続して前年同月比で上回っており、引き続き企業の採用活動は活発である。
	民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・以前は特に技術系で良い人材であれば随時募集する姿勢であったが、現在は予算ありきで採用枠を限定する企業が増えている。
	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	求人数の動き	・企業の採用活動は活発にはなっているが、学生の就職活動の意識は余り高くない。
	人材派遣会社（支社長）	求人数の動き	・地元自動車メーカーの不服感に影響され求人は鈍化傾向で、自動車関連の採用が落ち着いたため、人の流れもその他へ向かっている。今まで採用ができなかった企業も市内、郊外関係なく採用ができ、結果的に当社のような人材派遣会社を介さない人材採用が進んでいる。
	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・大学生の卒業もあり、アルバイト、パート、正社員を含めて3か月前が年間を通じて求人数のピークであるため、そのときと比較すると求人数はやや減少している。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・大卒の就職決定率が高水準で、企業の採用意欲はより旺盛になっている。ただ、外国人労働者に依存する傾向も進展し、企業にとって人件費の高騰が足かせになっている。

	民間職業紹介機関（人材紹介担当）	求職者数の動き	・求職者数の動きに変化がなく、今後、人手不足が景気に悪影響を与えるおそれがある。
	学校〔大学〕（就職支援担当）	周辺企業の様子	・金融などの業績が悪化するなど、新聞報道に見られる良くない話題が少しずつ顕在化している。
x	-	-	-